

～ 那覇市平和通り商店街アーカイブス事業 ～

沖縄でも有数の歴史ある商店街。その空き店舗を使用して商店街の変遷や戦後以降の地域文化をビジュアライズする拠点として約1ヶ月間展開。街で目に映る現在の光景と過去の光景とのギャップは、世代を超えて大きな関心を集め、街のファンづくりにつながった。

所在地：沖縄県那覇市牧志3-3-7
TEL：098-863-1621 FAX：098-863-1673
URL：—
組合員数：68名
商店街の類型：広域型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

観光客で賑わう那覇市のメインストリート「国際通り」のほぼ真ん中に位置し、昔ながらの衣料品店、土産品店、皮革製品店、沖縄の食文化が垣間見れる飲食店などが軒を連ねている。戦後、開南地区から牧志地区にかけて生まれた露店の市場が平和通りの始まりと言われており、昔の沖縄が残る商店街として知られており、訪れる観光客も多い。

近年は、郊外に大型量販店が出店した影響で地元住民の足が遠ざかり、商店街の名前も知らない若い世代が増加している。空き店舗の増加など街区全体が衰退傾向にあるなかで、かつては地元住民の生活インフラを支えてきた商店街の存在価値を再認識していただき、商店街に興味を持ってもらうことを狙って本事業を実施した。

実施した事業の概要

【平和通り商店街アーカイブス展】

商店街の空き店舗を活用して、商店街が成立した1950年代から本土復帰前後の全盛期だった1990年代の「マチグー（商店）」の写真パネルや沖縄の通貨の変遷に係る資料、当時の暮らし向きや文化が伝わるポスターや道具などを展示した。会場には昔懐かしい当時の映像や、平和通り周辺で商売を営む人々が商店街の歴史を語るインタビュー映像の上映会も実施した。

平成26年7月28日～8月31日までの開催期間中に展示物の定期的な入替を行い、約9,000名を超える幅広い世代層を街に呼び込んだ。マチグーに活気があった往年の通りの様子を現状の風景と見比べ、当時を懐かしむ年配の方、物珍しげに見入る若い世代も多く、商店街が地域と共存共栄している様子は世代を問わず地元住民から大きな関心を集めた催しとなった。



成果と成功の要因

イベントの実施に当たり、借受けた数多くの写真や資料、道具等は組合員の自己所有物に限らず、近接する各通り会などから協力を得て実現したものである。「再びマチグーに活気と輝きを取り戻したい」という共通認識が生まれ、街ぐるみでイベントの周知活動に協力して頂いたことで成功につながった。

ノスタルジー漂う商店街の時代背景の描写は、近代的な街並みに見慣れた若い世代にとって興味深いものとなった。当時の生活様式が垣間見れる写真やポスターなどの資料も多数展示し、未来へ伝達しようとする商店街の取組みが、世代を問わず共感呼び、来場者数の増加につながった。



今後の取り組み

借受けた自己所有物の写真や資料等は地域の歴史や文化を後世に伝えていくための貴重な資源である。各通り会などとの協力体制を維持しつつ、所有者リストで管理して地元の恒例行事などにも展示スペースを設け、地域の人々に対しマチグーに関心を持ってもらう取り組みを維持、継続していく。

さらに、歴史や文化をバックグラウンドとした各個店の魅力創出のための抜本的な方策を講じ、賑わいの拠点を「点」から「面」へ展開していく予定である。